

住化・住武相談室だより

第17号 5月10日

発行 住友化学・住化武田農薬

お客様相談室 0570-058-669

発行責任者 古津 昇

i-農カサイト <http://www.i-nouryoku.com/index.html>

目次

農家さん訪問記	p.1
ポジティブリスト制度とは	p.5
オリスターA(シリーズ3)	p.7
雑草よもやま話(17)	p.9
住化アグログループ紹介「住化農業資材(株)」	p.10
今月の推進農薬「ベストガード水溶剤」	p.11
農薬あれこれ?なぜなに?コーナー	p.12
病害虫発生情報	p.13
農薬登録情報	p.14
最近の「お・美味しい!」	p.15
コラム・そば談義	p.16
編集後記	p.16



「ソメイヨシノ(バラ科)とウソ(スズメ目アトリ科)」 技術顧問 富樫 作

農家さん訪問記

今回は、福岡市西区元岡のJA福岡市元岡礫耕(れきこう)トマト部会長である浜地正彦さんにお話を伺いました。

元岡礫耕トマトは高い品質が自慢です!

トマト部会長 浜地正彦さん



元岡は魏志倭人伝ゆかりの土地

元岡は、隣接する前原(まえばる)市と共に、魏志倭人伝に記録されている伊都(いと)国があった場所とされ、長い歴史があります。一方、最近の重大ニュースとしては、九州大学工学部が移転してきたことが挙げられます。大学のある街として、元岡は急速に変わり始めましたが、今後も様々な整備事業が計画されており、更に様変わりしていくことでしょう。

訪問当日は快晴で、穂の出揃った麦畑の明るい緑色や、レンゲの花のピンク色が印象的でした。訪問日は連休前の4月28日でしたが、早くも田植えが始まっており、田植機がどんどん苗を植えていく様子も見ることが出来ました。一方で、丸屋根や三角屋根の温室がいくつも立ち並び、施設栽培が盛んな地域であることも見て取れました。



元岡では、かつては伊予柑、ネーブルなどの晩柑類の栽培が盛んでしたが、オレンジの輸入自由化で価格が低迷を続けたため、トマトなどへの切り替えが進みました。しかし、現在も「元岡のみかん」の伝統を守っている農家さんもあるとのこと。

若い仲間と取り組む礫耕トマト栽培

インタビューでは、浜地さんのトマト温室の一つにお邪魔し、実際に施設内の様々な装置を見せて頂きながらお話を伺うことができました。

浜地さんは引き締まったスポーツマンタイプの方で、40歳半ばという実年齢より若く見えました。インタビュー中、いろいろ細やかに気を配って頂き、この気配りが、おいしいトマトを育てる上でも活かしているのでは、と感じました。

浜地さんが就農されたのは20歳の時で、今年で26年目になります。トマト栽培はお父様の代に、かんきつ栽培と並行して始められました。当時は「温床」という、わらの発酵熱を利用した半促成栽培を行っていたそうです。「礫耕栽培」を始めたのは正彦さんの代になってからで、今年で11年目になります。

現在、ご自身の温室の面積は合計30アールあり、ご本人と3名のパートの方とで作業をしておられます。

息子さんが二人いて、奥様は育児に専念されているとのこと。「お子さんを跡継ぎにと考えておられるのですか？」と質問したところ、「二人ともまだ小学生なので考えるのは早いし、進む道を強制したくはないと思っている」とのお答えでした。

浜地さんは昨年9月より、JA福岡市元岡礫耕トマト部会の部会長を務めています。

元岡におけるトマトの礫耕栽培は、26年前に3名の方が50アールの栽培面積で始めました。現在の栽培規模は5ヘクタールで、開始当時の10倍になりました。部会員数は12名で、うち9人の姓が「浜地さん」とのことです。

部会員の年齢は、20歳代から50歳代で、比較的若いのが特徴です。親子で取り組まれている方もあるし、もうすぐ息子さんに譲る予定の方もいるそうです。農業ではとかく後継者不足が問題になりますが、こちらでは後継者へのバトンタッチも順調のようです。



栽培に使う火山礫



栽培に使用しているプランター

トマト礫耕栽培は環境にもやさしい循環型

礫耕栽培は、名前が示すとおり、土の代わりに礫（火山礫）を使用する方法です。温室内に設置された長いプランターに礫を敷き詰め、その中に肥料入りの水を循環させる、養液栽培の一種です。他の水耕栽培と同様、水分と肥料を細かく調整出来る点が長所です。冬場には、温湯ボイラーの湯をプランターの底に通し、地温を上げています。



肥料はメインタンクの水に加えられます。トマトが吸収しなかった肥料は捨てられるのではなく、再びタンクに戻って来ますので、環境に配慮した農法と言えます。肥料濃度は機器で設定し、モニターします。肥料タンクは2種類あり、投入割合は機器で調整します。また、pHもモニターして調整します。養液栽培は肥料の配合バランスや濃度の見極めがポイントですが、トマトの生育状態を見ながらの調節は何年やっても難しいとのことでした。専門家による養液分析も活用しているそうです。



かつては年2回栽培でしたが、栽培技術が進歩したため、現在は年1回栽培が主流になりました。年1回栽培の方が、収量・収益に優れるとのことでした。昨年は7月25日に定植しました。定植後2ヶ月目から収穫を開始し、今年の7月10日頃まで収穫を続ける予定です。



7月に植え替えるのは、この時期、ハウス内の温度が上がりすぎて良い実ができないことが主な理由です。夏場は高冷地から高品質のトマトが出荷されるため、不利な条件での競争を避ける意味もあります。

主な栽培品種は、食味の良い「優美」です。苗の本数は10アール当たり約2,500本で、年間で23段から25段くらいまで結実するそうです。収量は組合平均で10アール当たり約20トンです。

礫耕栽培で一番大変なのは、収穫が終わった後の栽培装置の片付けと、次の準備です。1年間の栽培で根が礫に絡み完全に固まっているため、ほぐす必要がありますが、人力での作業なので大変です。ほぐした礫は直ちに消毒し、次の栽培に使います。この作業をわずか2週間で完了させるので、日程的にも厳しいものがあります。

病虫害では、特に灰色かび病に困っているそうです。完璧に抑えてくれる薬剤が無いのが悩みです。また、数年前に一度、かいよう病の被害を受けたことがありました。それ以来、ハサミなどの道具をまめに殺菌し、菌を持ち込まないように用心しているとのことでした。

また、黄化葉巻病対策で、媒介虫であるコナジラミの侵入を警戒しています。主な対策は防虫ネットですが、コナジラミ用のものは目が細かく、風通しが悪くなるのが欠点です。

自慢の品質を武器にして今後は売り方を学びたい

収穫は、冬場は1日おきに、暖くなると毎日行います。今年は4月の最終週より、毎日収穫に切り替えたとのことでした。収穫するトマトは、熟度を「着色基準表」で判定して選びます。店頭で並ぶ頃にちょうど良い色づきになるよう、日数を逆算して決めます。今の時期なら5分、冬場には7分くらいのものを収穫します。

収穫したトマトは選果場に持ち込み、そこから市場へ出荷します。出荷先は8割が福岡の大同市場、2割は京都の市場です。京都の市場とは、みかんを出荷していた時からのつながりだそうです。

元岡礫耕トマトは高い品質が自慢で、福岡の市場では最高の価格で取引されています。食味だけではなく、日持ちが良いということでも高い評価を得ています。

一般に、ゴールデンウィーク前は良い価格で取引されるそうです。しかし、近年では全国的にトマトの作付け面積が増えており、価格は年々厳しくなっているそうです。

今後の展望を浜地さんにお訊きしたところ、「礫耕トマト部会として、これまでは品質向上に努力してきましたが、市場では既にトップの評価を受けており、技術的には一定の水準に到達したと考えています。これからの課題は売り方であり、マーケティングに力を注いでいきたいと思っています」とのことでした。また、「水切りトマト*」など、この部会の目玉になるような商品を作っていきたいと考えておられるそうです。

個人的には、地域の町づくり計画で、2棟ある温室のうち1棟がその計画地にかかるため、それを機に別の場所でハウスを建て栽培規模も増やしていきたいとのことでした。

(南)



あとがき

インタビューの最後に、栽培されているトマトを試食させて頂きました。果肉が締まっており、強い甘みの中にほどよい酸味があって、こんなおいしいトマトをスーパーで買える福岡の人がうらやましくなりました。

(*)水切りトマト：供給水分量を絞って作る、甘みの強い高品質のトマト。水切りは植物体に大きなストレスを及ぼすため、収穫終了直前にしか行えない。年2回栽培を行っていた時期は、2月に「水切りトマト」を作ることが出来、大好評だった。しかし、最近では年1回栽培が主流のため、あまり多く作れなくなった。

福岡県福岡地域農業改良普及センター石坂晃様とJ A福岡市西グリーンセンター蒲生啓太様のご紹介でインタビューが出来ました。お礼申し上げます。

[目次へ戻る](#)

「ポジティブリスト制度」とは

「食の安全」は農薬取締法と食品衛生法の二本立て

私たちの「食の安全」は2つの法律で守られています。1つは農薬取締法で、農薬の製造・販売・使用を規制することで農作物の安全を確保しています。もう1つが食品衛生法で、農作物を含むすべての食品を対象に、含まれる農薬などの量を規制することで農作物の安全を確保しています。このように、農作物の生産過程で農薬を適正に使用することと、その生産物である農作物を規制するという二本立てで私たちの「食の安全」が確保されています。

特に、生産過程での農作物の安全確保の点では、改正農取法が平成15年3月10日から施行され、使用者に対して農薬の適正な使用が義務付けられ、違反に対しては罰則が導入されています。



なぜポジティブリスト制度が導入されるのか

食品衛生法では、すべての食用作物が140種類の作物あるいは作物群に分類されています。農作物に含まれても何ら健康に影響がないとして定められる各農薬の限度(これを残留基準といいます)は、これら140の作物(群)に個別に設定されます。ただし、これまでは、その農薬が実際に使用されない作物に対しては必要がないということで残留基準は設定されていませんでした。残留基準が設定されている場合には、その基準を超えた農作物は販売できないので、私たちの口には入りません。

例えば、海外だけで使用されていて、残留基準が決められていない農薬が残留している作物が輸入される場合はどうでしょうか。5月28日までは法的に規制することができないのです(実際には、このような場合、業者が自主的に輸入を規制している)。このことが私たちの「食の安全」を確保する上で法的に不十分だと考えられたので、食品衛生法の改正、すなわち、ポジティブリスト制度の導入となりました。

ポジティブリスト制度とは

簡単にいうと、農薬は残留基準がない作物に対して、一律、一億分の一(0.01ppm、一律基準という)を超えて残留してはならないと定めた制度です。通常、残留基準が数百万分の一から数十万分の一(零点数ppmから数ppm)程度の残留基準であることを考えると、この一律基準はその数十分の一から数百分の一ととても小さな値です。一律基準は、原則、どんな農薬でも人が一生食べ続けても安全な量として定められました。

注)残留基準が濃度1ppmの場合は、重さ1キログラムの作物に対して1ミリグラムの農薬の量に相当します。

これまでの制度との変更点をまとめると

すべての農薬と作物の組合せに一律基準を含む残留基準が決められました。

登録のある作物の基準は原則変わっていません。これまでと同じようにラベルに従って農薬を使用して何ら問題はありません。

ただし、本制度の施行にあたり、国際的な基準や海外の基準を考慮して残留基準が追加されている作物があります。そのため、登録のない作物にも残留基準がある場合がありますが、残留基準があってもその作物に使用できません。使用すると農薬取締法違反として罰せられる可能性があるので注意してください。農薬の使用は、あくまでラベルに記載された適用内容に従ってください。

では何をすればよいのか？

農薬使用の基本は従来通り変わりません。

1) ラベルをよく読んで、使用時や使用後の散布器具の洗浄などの注意事項を守る。

2) 使用量、使用回数、希釈倍率を守り登録作物のみに使用する。

周辺作物への飛散（ドリフト）に気をつける。

1) 風向きに気をつけて、できるだけ風のない時に散布する。

2) 飛散し難い散布器具を使う。

3) できるだけ飛散し難い剤型（粒剤が一番飛散し難い）を選ぶ。

可能ならば、周辺作物にも登録のある農薬を選ぶ。

防除日誌に、いつどんな農薬を散布したか記録しておく。

周りの農家の方との連絡を密にして、お互いが散布によるお隣の田畑への飛散がないかどうか気をつける。

終りに

ポジティブリストについてご説明してきましたが、皆様がいるんな解説記事を読んでも今ひとつしっかりと理解できていないのではないかと心配しています。

正直に申し上げて、判らない時は詳しい人に尋ねるのが一番です。

公的機関である都道府県の病害虫防除所、普及指導センターや地域の農業団体の営農指導員にアドバイスを求めながら、この新制度をポジティブに受け入れて理解・実践して行きましょう。

[目次へ戻る](#)



オリスター-A (シリーズ3)

農業害虫防除用天敵昆虫;タイリクヒメハナカメムシ剤

今回は最終回として、オリスター-Aの使用方法に関するQ & Aをご紹介します。

<Q&A>

Q1.オリスター-Aを到着日に放飼できない場合の保存方法を教えて欲しい。

A1.できるだけ到着日に使い切ってください。でも、1日位なら冷蔵庫(3~8℃)に入れても品質は殆ど変わりません。

Q2.シシトウ、ピーマンのアザミウマ発生量とオリスター-Aの放飼時期は?

A2.オリスター-A放飼前にアザミウマ類の種類と密度の調査をして下さい。花当りのミカンキイロ及びミナミキイロアザミウマ幼虫または成虫密度が0.1~2頭、ヒラズハナアザミウマは2~5頭程度が放飼適期です。

Q3.ナスでのオリスター-Aの放飼時期は?

A3.アザミウマ類の発生状況を調べ、ナス葉・花上で発生や食害が少しでも見られたら直ぐに放飼を始めて下さい。

Q4.アザミウマの発生はどうすれば早く見つけることができますか?

A4.青色または黄色粘着シート(ムシとれ太!)をハウス内に吊り下げるとアザミウマがトラップされます。その捕獲状況を見れば発生状況が直ぐに分かります。

Q5.人間を刺すことはあるのですか?

A5.大量に増殖した時に稀に人間を刺すことがありますが、健康への問題は殆どありません。首から入ることが多いのでタオルを首に巻く等の対策をして下さい。

Q6.粒剤のオリスター-Aに及ぼす影響は?

A6.多くのネオニコチノイド系殺虫剤の粒剤は、オリスター-Aの増殖に約4週間悪影響があるので、粒剤使用後は約1ヶ月間オリスター-Aのご使用をお控え下さい。

Q7.紫外線カットフィルムはオリスター-Aの効果に影響がありますか?

A7.一般に飛翔する昆虫(ミツバチ、マルハナバチ)には影響を及ぼすことがありますが、這い回る昆虫(ハナカメムシやカブリダニ等)には影響がないと考えられています。

Q8.オリスター-Aの放飼から効果が出るまでの期間はどの程度ですか?

A8.使用する季節によって効果が現れるまでの期間に差があります。春~夏季の条件であれば放飼後約3週間、晩秋~冬季は4週間以上を要することがあります。

その他にも、農産物生産者の皆様から農薬の影響期間、摘心・摘葉の影響、放飼時刻、他



の天敵との併用等、たくさんのご質問を頂いています。より詳しい内容をご希望の方はお客様相談室へお問い合わせ下さい。

では、皆様方も天敵昆虫；オリスター A や化学農薬、物理的防除資材等を組み入れた総合防除（モデル案参照）で楽しんで、安全、安心な農産物の生産に取り組んでみませんか。

（浮城）

ピーマンのIPMモデル (案)

	8-9月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-6月	備考	
	苗	定植			収穫期						
スリップス類	スリ/エス etc	ヘストガード粒剤 アドマイヤ粒剤 テス(アフラム) 粒剤など	オリスター-A (0.5g/㎡×2回)								
アブラムシ類			ムシとれ太!								天敵農薬 (アブラバチ、クサガゲロウ、パーチリウムなど) 選択的農薬(テスなど)
ハスモンヨトウ			選択的農薬	天敵農薬							選択的農薬(トルネード、プレオ*など)
オオタバコガ			黄色蛍光灯	防虫ネット							Btは若齢期に防除
ホコダニ			プレオ	エスマルクDF							選択的農薬(トルネード、プレオ*など)
ハダニ				選択的農薬							Btは若齢期に使用
病害	太陽熱 消毒	テカソル (健苗育成+ 本圃)	選択的農薬								モリスタ、ダニロシ、コテツなど
	灰色かび病: スリックス、スミレゾ etc うどんこ病: ムシオキシンAL、シーファイ、EBI系 斑点病: EBI系など 青枯れ: テカソル 菌核病: スリックスなど										

コテツ散布時にはミツバチ巣箱をハウスから出す


IPM

[目次へ戻る](#)

雑草よもやま話(17)

水田で外来生物法の規制対象植物増加の兆し

特定外来生物による生態系等への被害防止のための法律「外来生物法」が昨年6月1日に施行され、規制対象植物としてナガエツルノゲイトウ、ミズヒマワリ、ブラジルチドメグサが指定されました。このうちのナガエツルノゲイトウと同じツルノゲイトウ属植物であるホソバツルノゲイトウが、九州の水稲直播栽培の雑草として問題となっており、その生育特性と防除対策について、九州沖縄農業研究センターの住吉先生(2005年)の報告を見てみます。



ホソバツルノゲイトウ

ホソバツルノゲイトウは熱帯アメリカ原産のヒユ科1年生植物で、日本では本州中部以南の太平洋側で発生が認められています。水田の雑草として問題化しているのは今のところ九州の乾田直播栽培だけのようで、今後広がる可能性を秘めていると思われます。種子の発芽には適度の水分と共に酸素と光が必要であるため、出芽深度は最大でも1cmと考えられています。湛水条件下ではほとんど発芽しません。また15℃以上で発芽しますが、発芽適温は25~30℃と考えられています。ホソバツルノゲイトウは畑雑草としての特性が強い植物ですが、種子は比重の軽い外被に包まれており水に浮きやすいことから、代掻きによって土中の種子は水面に浮き、その後の落水によって地表面に散布されることになるため、水田としての管理が最も発生しやすい条件を提供していると考えられます。



ナガエツルノゲイトウ

発生したホソバツルノゲイトウの生育は、葉身が水面上に出る程度の湛水ではほとんど阻害されず、完全に水没する状態に湛水すればかなり生育は抑制されますが枯死することはなく、中干しや収穫前の落水によって生育が再開されると考えられます。

乾田直播栽培でのホソバツルノゲイトウの防除は、水稲播種前後の非選択性茎葉処理剤による防除、乾田期間のベンタゾン剤による防除、入水後のスルホニルウレア混合剤による防除の3つのポイントがありますが、いずれの処理でも葉令が進んだ個体に対する効果は低下しますので、乾田期間の防除をしっかりと行う必要があります。

近年の外来雑草の蔓延には、輸入飼料への雑草種子の混入や未熟堆肥中の生存種子の耕地への散布という実態が大きく係わっています。有機物の施用に当っては完熟化に努め、混入する雑草種子の発芽力をなくしてから耕地へ投入する必要があります。(岩崎)

*写真は、宮城教育大学 環境教育実践研究センター 安江研究室 鶴川研究室から使用させて頂きました。

[目次へ戻る](#)

住化アグログループ紹介**住化農業資材株式会社****果樹用「吊り下げ式・灌水チューブ」の分野へ！**

自社製チューブとして初めて、果樹の「頭上灌水分野」へ、遅まきながら進出を果たした。

チューブ名は「ミストエース20果樹」

果樹の分野では、年々、灌水設備の重要さが再認識され導入気運が高まって来ています。中でも「ミストエース20果樹」は、従来の点滴灌水やスプリンクラーとは違った特長が多々有する面白い灌水チューブです。

【設置】

果樹棚の番線を利用するなどし、専用の吊り具で簡単に頭上設置ができる手間いらず！

スピードスプレーヤ走行の妨げにもなりません。

初の縦置き設置（写真参照）を採用し、雪の多い地方でも年間を通じて、吊り下げたままで大丈夫！！

【散水】

特殊穿孔を駆使したチューブからのミストな霧雨は、樹間を広範囲に優しく濡らし、根にストレスを与えず、果実の肥大効果も望めます。また10アールあたり約40L/分と少水量タイプであるため、広い面積を一度に灌水できるのも大きな特長です。

現在、鳥取県の梨向け県単事業を軸に導入が進んでおり（まずは3ヘクタール）今後も継続的な導入が見込まれております。また同時に関東圏でも既に販売が始まっており、「果樹向け」という自社製チューブにおける新しい分野の逸品として「ミストエース20果樹」には、大きな期待が掛けられております。

このように、果樹向けには、ミスト頭上灌水により第一歩を踏み出しましたが、当社では、農業界のあらゆる作物向けの灌水で、お役に立てるよう、今後も営業担当・開発担当が今以上に頑張る所存であります。



[目次へ戻る](#)

今月の推進農薬

薬剤抵抗性のタバココナジラミ バイオタイプQに

ベストガード水溶剤

4月に入って、タバココナジラミ バイオタイプQの発生が宮城・埼玉・岐阜県、京都府で確認されました。国内では2005年に宮崎県で初確認後、生息地が拡大し、現在宮城県から九州全域の19府県で発生が確認されています。

国内のタバココナジラミは、在来系統のシルバーリーフコナジラミ(バイオタイプB)と、タバココナジラミバイオタイプQに分類されます。しかし、これらの形態的な差異は成虫・幼虫とも確認できません。

ただ、防除面では、バイオタイプQは一部のコナジラミ剤で感受性低下が見られます。

ベストガード剤は、バイオタイプQに対しても安定した効果があるという試験成績があります。

従来のコナジラミ剤での効果が不十分と感じられましたら、一度ベストガード水溶剤をお試ください。定植時のベストガード粒剤もお勧めです。

ベストガード水溶剤・粒剤は、トマト、ミニトマト、ピーマン、きゅうり、なす、すいか、メロンなどに登録があります。

この他に「ダントツ水溶剤・粒剤」もコナジラミ類での登録があります。



写真78-1 成虫



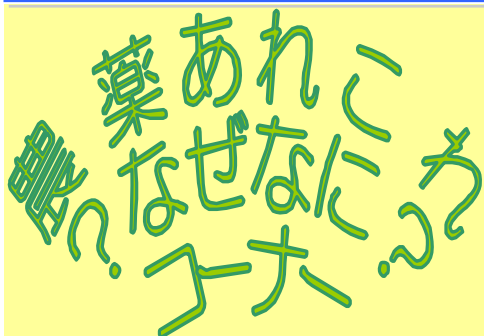
写真78-2 幼虫と蛹
(蛹は1番右側の大きな個体)

実際の防除に当っては感受性の高い薬剤でも連用を避け、物理的な防除薬剤の「粘着くん液剤」や「微生物農薬」及び防虫ネット、反射マルチ、近紫外線カット黄色粘着板等の物理的防除も必要です。

(富樫)

写真の資料：「野菜生育障害・病害虫現地診断の手引き」島根県農林水産部より掲載

[目次へ戻る](#)



今まで使用してきた農薬が効かないみたい・・・

ご質問

私は野菜を育てていますが、毎年愛用している薬剤があります。これは、本当によく効いて、いつも助かっています。ただ、最近、効きが甘くなっているようです。以前はよく効いていたのですが・・・どうしてなのでしょう？また、どうしたらいいのでしょうか？教えてください。

お答え

よく効く薬もそればかり使用していると、虫や病気がだんだんその薬に慣れてきて、その薬に抵抗するコツをつかむようになります。これがいわゆる抵抗性がつくということです。同じ薬を使用していると、その薬に強い系統の虫や菌のみが残り、その系統がどんどん増えていくこととなります。

これを防ぐには、作用性の異なる薬と交互に使用するなど、同じ系統の薬を何度も連続して使用しないことが必要です。

(商品名が違って、系統の同じ薬があります。購入される際には、販売者に尋ねるなどして、ご確認ください。)

このように、いくつかの薬を順番に使用していきますと、いつまでも効果のよい薬として未長くご利用いただけます。

ぜひとも、上手に農薬をご使用いただき、いつまでも薬の効き目を維持させながら、りっぱな野菜を育ててください。



(佐伯、稲葉)

[目次へ戻る](#)

病害虫発生情報

4月に各県から出された病害虫注意報・特殊報から、主要なものをお知らせします。

タバココナジラミ バイオタイプQ

宮城県、埼玉県、岐阜県、京都府

シルバーリーフコナジラミ（バイオタイプB）との形態による区別は、現時点ではできません。従来のコナジラミ防除薬剤に対しては、感受性が低い系統ですが、ベストガード剤の効果は、このQタイプでも優れているという試験報告があります。

また、トマトでは粘着くん液剤も効果が期待できます。

コナジラミ類の防除は、薬剤による防除だけではなく、施設の開口部に防虫ネット（0.4mm目以下）を張るなどの対策も同時に行うことが必要です。

4月末現在19県で特殊報が発表されており、九州から南東北まで広まってきております。



麦類

赤かび病：愛媛・福岡・大分・佐賀・長崎・熊本県

この病原菌は、麦わら、稲わら、稲の刈株などの植物体上で越冬し、2～3月以降に胞子が曇天高湿度時に飛散します。

防除適期は、コムギでは開花最盛期とその7日後の2回、オオムギでは穂揃期とその7日後の2回です。降雨のため、防除適期を逃した場合でも天候の合間を見計らって必ず防除してください。

レタス

灰色かび病：香川県

圃場の排水を良くし、過湿にならないように気をつけて、結球前から結球開始期に必ず防除してください。防除薬剤としては、スミレックス水和剤、スミブレンド水和剤、ゲッター水和剤などがあります。

たまねぎ

べと病：長崎県

発生初期の防除を徹底し、7～10日間隔で数回防除してください。ダコニール1000、ナレート水和剤などの防除薬剤があります。



ばれいしょ

ジャガイモ塊茎褐色輪紋病：北海道

ジャガイモモップトップウイルスによって起こる病害で、国内で2例目の発生確認です。粉状そうか病菌によって媒介されるので、本病害の防除に努めてください。

なし

フタモンマダラメイガ：神奈川県

なしでの登録農薬はありません。

（稲葉）

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

4月の適用拡大内容です。

薬剤名	変更点	作物	病害虫名	使用量	内容
武田ダコニール 1000	作物追加	ミニトマト	疫病、輪紋病 葉かび病	1000倍	収穫7日前まで/ 2回以内/散布
		パパイヤ	炭疽病	1000倍	収穫前日まで/ 5回以内/散布
		ズッキーニ	うどんこ病	1000倍	収穫前日まで/ 3回以内/散布
		もりあざみ (やまごぼう)	ステムフィリ ウム葉枯症	1000倍	収穫30日前まで/ 3回以内/散布
STアンビル フロアブル	作物追加	ネクタリン	灰星病 黒星病	1000倍 200~700L/10a	収穫前日/3回以内 /散布
リゾレックス 粉剤	作物追加	だいおう	苗立枯症	150g/10a分の 突起板使用覆土 約12L	は種前/1回/ ペーパ-ホット用の覆 土に均一に混和
住化 バサグラン液剤	作物追加	はとむぎ		薬量150mL/10a 希釈水量 70~100L/10a	畑地一年生雑草 (イ科を除く)/ はとむぎの生育期 (雑草3~6葉期) 但し収穫45日前ま で/2回以内/雑草 茎葉散布/全域
	作物追加	べにばないん げん		薬量 100~200mL/10a 希釈水量 70~100L/10a	畑地一年生雑草 (イ科を除く)/ べにばないんげん の生育期(雑草の生 育初期~6葉期)但 し収穫45日前まで/ 1回/畦間雑草茎葉 散布/全域
STジベラ錠	作物追加	しそ(花穂)	穂の伸長促進	ジベレリン5ppm	出穂期(但し、収穫 7日前)/1回/茎葉 散布(50L/10a)

(佐伯・稲葉)

[目次へ戻る](#)

最近の「お・・美味しい!」

弊社相談室紅一点!の佐伯がお送りします
 最近の「お・・美味しい!」
 女性の目・主婦の目・はたまた酒飲み??の目(笑)で、
 毎月「これぞ!」というものを紹介します。
 どうぞお楽しみに♪♪♪

今月はゴールデンウィーク特集!

九州まで買い出し(?)に

今年の大連休、皆さんどうお過ごしになりましたか?私は九州まで遠出しました。

今回はほぼ縦断。3泊4日で門司 福岡 大分 別府 阿蘇 熊本 鹿児島という強行軍でした。雄大な景色に心奪われながらもやはりお目当てはグルメです。美味しいお魚、お肉、お野菜、それぞれ个性的で甲乙つけがたい「美味しい旅」となりました。しかも九州は銘菓・土産ぞろい。これを買って帰らないわけには参りません。当初から「買い出し」しに行くというスタンスで予算2万円を確保して行きましたから、買った買った。買いすぎです(笑)。

門司の外郎に始まって、福岡の明太子、大分のかぼす関連、熊本の銘菓たち(松風、陣太鼓、朝鮮飴)、鹿児島の軽羹、つけ揚げ、薩摩焼まで。満足 満足です!遠いですが、九州!また行きたいです。あの東京にはないゆったりとした時間、景色、おおらかな人間性、とにかく魅力一杯でした。

(佐伯)



九州土産の大集合!

「ごはん大好き人間が田植えに初挑戦」



ゴールデンウィーク最終日の日曜日。東京都杉並区「柏の宮公園」内にある田んぼにて、田植えの初体験!しました。

この公園は計画段階から区民参加で作られた公園だそうで、公園の計画づくりに参加した区民の方が中心となって柏の宮公園運営の会

をつくり、行政と協力しながら公園の管理維持などを行っています。そして、その内部団体の「柏の宮公園自然の会」では貴重な野草保全管理などの他に「田んぼ作り」も行っています。今回はその会員で(株)アグロスOBの笹木豊二さんにお誘いいただき、田んぼに入ったこともない「超初心者」の私が、田植え体験をすることになったのです。

小雨混じりのあいにくの天気でしたが、総勢100人以上が参加し大賑わい。この田んぼは一年中水を張っておく「冬期湛水不耕起栽培」という形を取っていて、

田植えの仕方も普通とちょっと違ってしています。竹ベラでぬかるんだ地面に穴を作って苗を入れ、最後に土を両手で寄せて完成。初めてでしたが、なんとかうまく?植えられました(と思いたい)。こういう作業は、なかなか都会に住んでいると体験できませんが、直接土に触れることは人間としてもとても大切だと思いました。・・ご飯大好きな私は苗を見ただけでお腹が空く始末。田植え後の昼ご飯のおいしかったこと!気が早いですが、今から収穫米(コシヒカリ)が楽しみです。

(佐伯)

[目次へ戻る](#)



見づらいですが、田植え後です。

コラム・そば談義

憂鬱な日々を過ごしている。

理由は、五十肩だ。去年は右肩で一年間患った。今年は、こともあろうに左肩が上がらない。子供達が揃う連休は、ここ数年オヤジとして手打そばを振舞うが、今は痛くて打つ気力すらない。そこで、仕方なく家族で外食した。息子達三人と酒を酌み交わし、お互いの会社のことや将来について話せるようになったのは、親として少し感慨深い。

さて、話は変わるが、お昼は会社の事務所近くの立ち喰いそば屋「がんぎ」によく出掛ける。値段の割に美味しい。あまり時間がないとき、さっと入ってすぐ啜れるのがよい。値段の割と書いたが、気持ちの問題で当然手打ちでもなければ、粉も外国産、かつそのそば粉の割合も少ないだろう。しかし、それらのことを差し引いても、これならいいかと思えるそば屋さんなのだ。そう思うと、駅の立喰そば屋で結構美味しい店がある。たとえば、福島や新潟、水沢江刺駅など新幹線構内のそば店は意外と美味しくよく出張時に立ち寄る。

その対極なのが、雰囲気からしてフランス料理店かと思えるようなそば屋さんである。このような店は、お酒や料理、器などを含めて値段？ともども十分堪能出来ると思う。当然、そば粉は国産の 県産。品種は今評判の「常陸秋そば」などを使用し、水を含めて本当にこだわった店だ。

しかし、私の場合は安くて美味しいそば屋さんを見つけると、何だか得をした気分になる。多分こちらの方が性に合っているのだろう。我が相談室もお客様から気楽に相談を受け、お客様が何か得をした気分になって貰えるような対応をこれからも心掛けたいと思うのだが・・・。

(古津)

[編集後記]

長いと思ったゴールデンウィークも、あっというまに終わりました。

東京では、連休明けから何だかスッキリしない天気が続いています。植物にとってはありがたい雨ですがスッキリとした五月晴も恋しく感じられます。

さて、本誌も農家さん訪問記が4回目となり、来月号は東北の農家さんを計画しています。また、東京の太田市場について記事を書こうと考えています。市場は朝が早いので、無事起きて市場に着くことが出来るかどうか不安ですがご期待ください。

最後に、まだまだ各地では畑作業や田植えが続きますが、元気で安全な農作業を心掛けて頂きますようお願いいたします。



[目次へ戻る](#)